

2021年度学校関係者評価報告

1. 日時 2021年6月22日(火) 14時～16時

2. 場所 愛仁会看護助産専門学校 2階 会議室

3. 出席者

評価委員：5名

- (業界関係者) 八田武志(関西福祉科学大学 学長)
- (業界関係者) 松原正明(愛仁会本部 常務理事兼局長)
- (業界関係者) 増山路子(愛仁会本部 看護担当特任理事)
- (学校運営専門家) 水口正子(明石医療センター附属看護専門学校 副学校長)
- (卒業生) 池上 梓(愛仁会看護助産専門学校同窓会 会長)

学校出席者：6名

- 清水富男 愛仁会看護助産専門学校 学校長
- 木村幸子 愛仁会看護助産専門学校 副学校長
- 真島久美子 愛仁会看護助産専門学校 看護学科教育主事
- 増本綾子 愛仁会看護助産専門学校 看護学科教育主事
- 大石有香 愛仁会看護助産専門学校 助産学科教育主事
- 松田孝緒 愛仁会看護助産専門学校 事務部長

4. 会議の概要

- (1) 昨年度の評価結果コメントに対して
- (2) 事前評価資料からの質疑応答及び書類審査
- (3) 評価者協議
- (4) 講評

評価項目については、自己点検・自己評価報告書の基準に基づき以下のとおり実施した。

- | | |
|-----------------|---------------|
| I 教育理念・目的・育成人材像 | VI 教育環境 |
| II 学校運営 | VII 学生の募集と受入れ |
| III 教育活動 | VIII 財務 |
| IV 学修成果 | IX 法令順守 |
| V 学生支援 | X 社会貢献・地域貢献 |

5. 評価結果

評価項目 全項目について「可」の評価

6. 今後の取り組み

各評価委員から貴重なご意見を頂き、今後も、学校関係者評価の結果を踏まえ、学校関係者と連携・協力し、教育水準の向上、学校運営の改善、強化に取り組んで参ります。

2021年度 評価

	自己評価	学校関係者評価
I 教育理念・目標	2.6	可
	コンセプトについては今年度便覧に記載し、学生にも常に見える化を図った。理念について「自主性と和の精神」について、主体的に考え行動することと自らのコミュニケーション能力を高めて他者とのチームワークを考えて行動できるように、講義や実習の中で指導している。また、3年次の「看護の統合と実践」という科目の中で卒業前に自己の能力到達度を卒業生像から振り返ることとしている。	理念とコンセプトの表現にずれがあり、一貫性をもって記載してほしい。学生がそれを理解できるように周知できているか数値化してほしい。
II 学校運営	2.6	可
	中期事業戦略 2021 として 2021 年からの 3 年計画を策定し、10 月の職員会議にて学校長から教職員へ説明した。	意思決定機関である運営会議に教員が入ることができるように努力をしてほしい。また、定員数減や愛仁会奨学金貸付制度について長期的に考えてほしい。
III 教育活動	2.5	可
	国際化に対応できるように、改正カリキュラムの英語の科目を検討する中で、看護師資格を持つ外国人講師から授業を受けられる用意検討し、フィリピンから配信授業を 2022 年度から実施する。オンライン授業を導入したことから、授業評価マニュアルを変更し評価項目を追加した。	授業評価を受けて、どのように教育方法や内容が変わったのか、教育活動の見える化に取り組んでほしい。また、学生へ授業評価結果の開示を行うことで、学生も講義を受けている意味を理解することができ、学校と学生の双方向性が保たれるのではないかと。
IV 学修成果	2.4	可
	子育て講座などの健康教育を企画することで、地域社会でのニーズから考えるようにしている。また、助産師に求められている役割とは何かを考えることができるように、実習ごとにケアレビューを実施し、育成に努めている。	成果を PR していくため、卒業生の就業状況等を分析し、グラフ等で見える化につなげてほしい。
V 学生支援	2.6	可
	助産学科での技術習得では、サポートアワーなどで学生自身が自己の課題を見出すことができるように、学生個々で教員の指導を受けることができるようにしている。2020 年度では感染対策もあり、最少人数でサポートアワーを受けることができるようにした。	カウンセリングの有効活用を分析し、学生の利用を増やすために検討してほしい。また、愛仁会奨学金が貸付制度に変更したことにより、今後返還免除基準をどのように周知するか検討してほしい。
VI 教育環境	2.6	可
	教室および実習室内での 40 台同時動画視聴可能な無線ネットワーク環境の整備を行う。2021 年 5 月 GW 中工事を完了した。	特になし。
VII 学生の募集と受入れ	2.8	可
	看護学科は昨年度より出願者は 19 人(5%)増加したが、3 倍にするためにさらに 20 人(10%)の増員を目指す。 <2021 年度入試倍率> 看護学科 公募推薦 1.7 倍、社会人 3.4 倍、一般 2.1 倍 助産学科 指定校推薦 1.0 倍、公募推薦 2.9 倍、一般 12.3 倍 ・ホームページのリニューアルを行うために広報委員会を中心とした活動として進めている。2021 年 8 月予定。	臨床との関係の良さを PR 活動につなげてほしい
VIII 財務	2.9	可
	適切に運用している。築 8 年を経たので、今後の設備更新のため検討を行う。	計画的な設備更新を引き続き検討してほしい。
IX 法令等の遵守	2.8	可
	2021 年 3 月 第三者評価更新受審・認定を受けた。 「私立専門学校等評価研究機構」 助産学科「日本助産評価機構」	「私立専門学校等評価研究機構」受審が有効であるのか検討してほしい。
X 社会貢献・地域貢献	2.1	可
	助産学科では 2020 年度より、小学校で健康教育として「いのちの授業」を実施した。	校舎を活用し、社会に向けて開かれた学校であることを示す活動を今後検討してほしい。

評価基準	3：適切 2：ほぼ適切 1：やや不適切 0：不適切	可：基準を満たしている 否：基準を満たしていない
------	------------------------------------	-----------------------------